



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



国際ロータリー会長

Weekly report

ジョンF.ジャーム

長井ロータリークラブ会長 高橋 勇喜知  
 長井ロータリークラブ幹事 齋藤 圭 央  
 パストガバナー 渡部 保太郎  
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15  
 事務局 長井商工会議所内 Tel0238-83-2047

第2800地区ガバナー 長谷川 憲治  
 第6ブロックガバナー補佐 今 良明  
 例会場 タスパークホテルTel0238-88-1833  
 会報委員 大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: [info@nagai-rc.jp](mailto:info@nagai-rc.jp)

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成28年9月20日(火曜日) 第2,678回

&lt;例会報告NO.10&gt;

【月間テーマ】 基本的教育と識字率向上

ゲスト卓話 日本遺伝子治療医学研究会代表理事 手代木 秀一 氏

## ☆会長挨拶 (高橋勇喜知 会長)



先週の土曜日、長井市ふれあい福祉まつりが開催されました。齋藤圭央幹事が実行委員になっていて、予算がなくて大変なので、協賛をお願いできないかとの話が理事会にありましたので、理事会の承認を得て、当クラブの55周年にちなんで5万5千円を協賛することにしました。当日の開会式で、協賛金を贈呈させて頂きましたが、実行委員の方とお話しをする機会があり、大変感謝をされました。普通のお祭りやイベントであれば、焼きそばなどを販売して運営費に充てるなどができますが、障がい者や高齢者、幼児等対象のまつりですので、対価を得ることができないイベントであることから、協賛金で豚汁等をふるまえるということで感謝の言葉を頂きました。少しでもお役に立てたことを報告いたします。

福祉まつりをきっかけに福祉とは何なのかを調べてみました。福とはしあわせ、祉もしあわせという意味でした。この上ないしあわせということかなと思います。今、どうしても強いもの

が、富を得たものが弱い人の分まで、利用してまで利益を取っているような時代であるが、本当はそういう人が弱い人等に還元していくことが必要だと思いますが、私どものクラブも社会貢献、社会奉仕を柱としているので、一クラブでできるのかという難しいわけですが、ロータリアンとして発信して、ロータリーの国民運動にでもできればと思っています。



長井市ふれあい福祉まつりに協賛金を贈呈

## ☆幹事報告 (大道寺信副幹事)

- ・11日のIMに参加された皆さん大変ご苦勞様でした。
- ・第2800地区より、2015-2016年度の決算報告が来ておりますので、回覧いたします。
- ・本日、6時半より理事会が開催されます。
- ・早退届  
五十嵐順子 会員  
大滝 徹 会員

<ニコニコ BOX>

- ・高橋勇喜知 会長  
裕子さんの息子さんの結婚をお祝いして。結婚式に呼ばれなかったこと残念です？
- ・塚田弘一 会員  
遺伝子治療の最前線を担っておられる手代木理事長さんに敬意を表します。

☆ゲスト卓話 (手代木 秀一氏)



- ・今日は最新のがん治療ということでお話をさせていただきます。がんというのは遺伝子が壊れて起きるものですが、壊れたらどうやって直せばよいかという考えで取り組んでいます。
- ・最近、どこの部位にがんが多いか上位6つまでは消化管が占めている。どうやっておきるのか。いろんなことが言われているが、傾向をみると食品からのものが多いのではないかと考えている。
- ・なんでがんが起きるのか。がん細胞は一日5,000個毎日できるが、なんで発がんしないのか。免疫機能があり、20代から40代が優れているが、30代がピークである。それを外れる年代の免疫力をどうやって埋めていくのが課題である。
- ・毎年100万人ががんになっている。出生率と同じである。2人に1人ががんになると言われているが、その半分の半分4分の1の人の標準治療がなくなってがん難民になっている。
- ・なんで増えているのか。がん細胞は100日に2倍になるので、9年後は10億個になる。急にがんになるのではなく、1日5千個できるがん細胞を免疫できなかった細胞が倍々で増えていく結果である。なるべく早く見つけるのが大事である。
- ・最近の検査で、普通の検査の前に見つける、簡単な検査が出て来ている。例えば、遺伝子検査であったり、線虫を用いた予測等があるが、ガンかもしれないとしても必ずしも見つからないこともあり、治療もできないこともある。
- ・治療する場合は3つのタイプがある。保険証を使う場合。手術か。放射線か。抗がん剤を使うこと。である。手術、放射線治療はまだ良いが、転移した場合は抗がん剤となり、その場合は2から3割の人しか効かない。日本には良い技術がたくさんあるが、海外へ流出している。
- ・遺伝子治療はがんが一番多い。日本では研究は世界的には少ないが、規制緩和もようやく行われ、進んできている。研究

者の流出が問題である。

- ・遺伝子治療はがん細胞をやっつけるのではなく正常にするものであり、がん遺伝子治療だけでも間違いなく効果があるが、もっと早くやるには放射線と遺伝子と組み合わせるとか、抗がん剤と組み合わせるとかをやると効果があることがわかっている。
- ・健康保険対象が治療では、重量子線治療は300万円、遺伝子治療が150万円から300円、ほかの保険適用では300万円かかる。がんの治療には300万円かかると思っていた方が良い。
- ・がんは長く時間がかかるものであり、このかかるものに対しての収入は落ちてくる。こうならないように、年金、医療等さまざまな行政の公的支援サービスがあるが、知っている人がほとんど知らないのが実態である。自分で申請しなければならないので、万が一の時のためにも仕組みがあることを知っておいてほしい。
- ・遺伝子治療をどうやって広めるか、標準治療だけでは駄目ですよということで活動している。また、お金とか助成がないと進まないということもあることから東京の行政書士会とも勉強会などもしながら、相談に乗ってもらえるように活動をしている。皆さんの知り合いの企業等どこにでも出かけて、説明、啓蒙活動に動こうと考えているので、是非お声がけ頂きたい。

☆次回例会予定

9月27日 会員卓話 那須 修 会員

☆出席報告

9月11日 IM 報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席 数	修正 出席率
本日	27(1)	9(1)	33. 33%			
前回 (9/6)	27(1)	16(1)	59. 26%	3	18(1)	70. 37%
前々回 (8/30)	26(0)	17(0)	65. 38%	5	22(0)	84. 62%

9月20日 例会 報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席 数	修正 出席率
本日	27(1)	20(1)	74. 07%			
前回 (9/11)	27(1)	9(1)	33. 33%	2	11(1)	40. 74%
前々回 (9/6)	27(1)	16(1)	59. 26%	3	18(1)	70. 37%